

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和7年5月7日（水）
担 当 課	教育事業部歴史文化財課
電 話	0791-75-5450

報道機関各位

古代のガラス（ファイアンス）の復元に成功！

国指定史跡「新宮宮内遺跡」の維持管理を行っている「弥生倶楽部」では、ガラスの先祖ともされる「ファイアンス」の製作に、令和5年9月から令和7年3月にかけて計5回、歴史文化財課と協働で挑戦し、試行錯誤の末、製作に成功しました。この製作実験の成果を市立埋蔵文化財センターロビーにて紹介します。

記

- 1 展示名称 ボランティアグループ「弥生倶楽部」活動成果展
「ファイアンス」を作る
- 2 開催場所 たつの市立埋蔵文化財センターロビー
- 3 開催期間 令和7年5月10日（土）～6月15日（日）
9時～17時（入館は16時30分まで）
【休館日】毎週火曜日、6月2日（月）
- 4 展示内容 ファイアンス復元品（弥生倶楽部が作成したもの）
- 5 観覧料 無料

<参考>「ファイアンス」の説明と弥生倶楽部の取り組み

ファイアンスの説明

ファイアンスは、古代エジプトなどで今から約 6,500 年前～1,800 年前まで装飾品などとして使われた、鮮やかな青色が印象的な焼き物である。ガラス質の被膜に覆われた焼き上がりや成分の組成から、ガラスの先祖の一つとされる。

ただし、製法に関する情報が残されておらず、具体的な製作方法等について研究が進められている。日本では東海大学の山花京子氏を中心とするグループが復元製作に取り組み、成功を収めている。

弥生倶楽部の取り組み

「弥生倶楽部」では、歴史文化財課と協働して「ガラスの先祖を作ってみよう」とファイアンスの復元製作に挑戦した。

東海大学の山花京子氏の研究を参考にしつつも、現代の利器である電気窯で焼成している山花氏らよりも「さらに古代の技術に迫りたい」との思いから、独自の仮設窯を設計、自作し、炭を燃料として焼成実験も行った。

令和5年9月から令和7年3月にかけて計5回の製作実験を行い、試行錯誤の末、製作に成功した。

焼成窯まで自作しての製作実験は、おそらく日本国内では初の試みである。



焼き上がったファイアンス復元品（3 cm×5 cm 程度）